

# 一斉清掃へのご協力ありがとうございました

11月25日の市内一斉清掃の際は、皆様のご参加・ご協力ありがとうございました。

この機会に、どうすればポイ捨てが減るか考えてみたいと思います。

駅やバス停の近くでは、飲み終わった缶などが無造作に置き去りにされていたり（置き捨て）、人目につきにくい場所（歩道橋の下、植え込みのすみなど）でもポイ捨てされています（隠し捨て）。駅前や交差点などでは、歩行者がすいからやガムなどを道ばたに捨てることも多く、最近大都市では、ポイ捨てを減らすための条例を整備する自治体も増えています。

## どこに、どんなごみが捨てられていますか？

ポイ捨てで多いごみは、タバコのすいから、ペットボトル、あき缶、レジ袋、雑誌などです。また不要となった家電・家具が、道ばたに捨てられています。川岸にもこれらのごみが大量に漂着しています。

## なぜポイ捨てをするのか、ポイ捨てする人の気持ち想像してみましょう

- ① 歩行喫煙する人は電車の駅構内やバス内は禁煙なので、乗る前にポイ捨てをする。
- ② 飲みながら歩く人は、飲み終わって不要となった容器を持ち歩きたくないという気持ちから、目立たない場所に隠すように置く。
- ③ 車道の交差点周辺など、すで

にごみのあるところが多く見られることから、捨てる人にはポイ捨てに対する後ろめたな気持ちや「ある種の安心感」から捨てる。

## ポイ捨てを減らすポイントってなんでしょう？

環境浄化運動の徹底を合言葉に、またいつもきれいなまちづくりを目標に、ポイ捨てる人には声を掛けることで反省を促し、恥ずかしいことなんだと認識してもらうための活動を続けているところがあります。

それは中央区の『銀座通り商店街』です。銀座と「つくばみらい」は違うと言われるかもしれませんが、「いつも清掃をして環境をきれいに保つ」「地域ぐるみで活動をする」ということは予防策の上でとても有効なこと、全国共通の課題です。

銀座が世界的にも有名な清潔できれいな街ですので、参考にしたいですね。

## 最後に：

ポイ捨ては、みんなの努力で減らすことのできる問題です。先日の一斉清掃はそういう意味でもとても有意義な活動と考えております。気持ちよく生活できるように、ほんの少しの気づかいで、前向きにポイ捨てを解決していきたいと思いたすので、今後の一斉清掃にも一層のご協力をお願い申し上げます。

◎ご意見、ご要望はこちらへお寄せください。

### ◆問い合わせ先

伊奈庁舎生活環境課  
☎58-2111（内線1121）



## 常総環境センターふれあいデーを開催

平成19年11月23日、秋晴れの中、約3千人の方々が参加して、常総環境センター・常総運動公園・白寿荘において、第1回常総環境センターふれあいデーを開催しました。

各会場では盛りだくさんのイベントがあり、なかでも環境センターの「ペットボトル風車作り」「牛乳パックではがき作り」「カレット絵」では、多くの方が参加し、ごみが生まれ変わる楽しさを実感していました。

また、ふれあいデーに先立って総合体育館において開催した開会式では、今後、さらなるごみの減量や資源化を推進していくため「ごみ減量化宣言」を行いました。

